

2019 年度 公益社団法人長野県社会福祉士会 事業報告

I 総 括 的 事 項

本会は、県民に対する生活の支援と権利の擁護、社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発、並びに社会福祉事業に携わる専門職員に対する技能の研鑽に関する事業等を積極的に展開してきました。

2019 年 12 月長野県内の有料老人ホーム内において高齢者虐待が発生したことが明らかとなりました。本会では、「高齢者の尊厳保持」の実現を目指して、高齢者虐待対応研修やキャリア形成訪問指導事業、長野県弁護士会との協定に基づく虐待対応専門職チーム派遣等の事業に、より一層積極的に取り組んでいくことの会長声明を発信して取り組んできました。

今後も県弁護士会と連携し、市町村に虐待対応専門職チームを派遣するとともに、県・県弁護士会との共催による虐待対応標準研修や各種研修等を通じ、虐待対応の第一義的責務を担う市町村への支援を行っていく必要を感じています。養護者による虐待対応については、少しずつ周知されてきていますが、今回のように養介護施設従事者等による虐待が増加傾向にある中で、本会としても取り組みを強化し、継続・推進していくことが求められています。

さらに、本会は、県内どこで暮らしていても、どのような状態にあっても、県民が公平に成年後見制度等の権利擁護のシステムが利用できるために、三士会(県弁護士会、リーガルサポートながの、本会ばあとなあながの)と連携し、県及び長野家庭裁判所と協議を行い、成年後見制度の普及・啓発、促進を図ってきました。

各委員会や地区単位で企画実施した、福祉まるごと学会や各種セミナー・シンポジウムは、子ども・教育、司法、医療、障がい、地域共生、他職種・他機関連携等タイムリーな話題を取り上げ、この一年間で8会場において企画・実施しました。参加者は、新年になってから新型コロナウイルスの感染防止のために中止も余儀なくされ、今年度の参加者は前年度の約半分の 600 人余人でした。

研修事業では、昨年に引き続き基礎研修全科目修了者 32 名を輩出しました。新潟県、山梨県との研修の相互乗り入れは定着し、3県の受講生の便宜を図るとともに、受講継続のために有効に機能しました。社会福祉士実習指導者講習会、社会福祉士国家試験受験対策支援の統一模擬試験の実施、高齢者虐待対応現任者標準研修を実施して、会員以外にも研修の機会を提供しました。

7 月には、長野大学並びに松本大学と連携し、ソーシャルワーカーデー企画として、県医療ソーシャルワーカー協会、県精神保健福祉士協会との共催で、『ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性』を考えるフォーラムを開催しました。また、令和 2 年 1 月には、長野大学と連携し、社会福祉士の社会福祉士実習の受け入れの現状に係る調査を行いました。ソーシャルワーカー養成校とソーシャルワーカー団体として活動する各会との連携は、今後も増々必要になると考えます。隔月発行の広報紙による発信と障がい者共生社会づくり条例への意見提案など、県民が直面している福祉的課題について、会や会員の実践や調査・研究の蓄積について積極的発信を行いました。

また、今年度は、県社協が主となって立ち上げた災害派遣福祉チーム(DWAT)へ福祉専門職団体として積極的に参画し、チームの研修が修了する前に、発災した台風19号による避難所運営に多くの会員が携わりました。次年度も、被災した市町村や関係団体と連携し、復興に向けた活動にも引き続き関わって行きます。

2020 年3月 31 日現在の本会正会員は 1,129 人。この1年間で 75 人の新入会員を迎えましたが、退会者も多く実質7人の増に留まりました。そして組織率は 27.5%と低迷していますが、全国的には上から7番目の位置で、また人口 10 万人当たりの会員数は 54.58 人となり全国第 5 位となっており、組織率の向上が求められています。

今年度の事業実績・教訓を活かしながら、さらに今年度立ち上げた中期計画推進プロジェクトチームを中心とした中期計画策定案により、私たち長野県社会福祉士会員は、公益社団法人の組織の一員として、また、ジェネラリスト・ソーシャルワーカーとしてさらなる前進と向上が求められています。

Ⅱ セミナー等開催事業

1 2019 年度 福祉まるごと学会

- ① 企 画 福祉まるごと学会運営委員会
- ② 日 時 2019年6月8日(土) 13:00～16:00
- ③ 会 場 茅野市中央公民館
- ④ 参加者 133人
- ⑤ 内 容

○ 実践研究発表 正会員8人

権利擁護	相談援助	実践研究	指定報告
和田健太郎	佐藤 尚治	増田 倫弘	長峰 夏樹
権利擁護	相談援助	相談援助	指定報告
北沢 将広	大久保直子	上松 幸代	熊本 圭吾

○ 講演(演習)

- ◇ 演題:参加者を惹きつける「場」の作り方と
ファシリテーションの技法
- ◇ 講師:内山二郎氏(フリージャーナリスト)



2 『ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性』を考えるフォーラム

～人生における意思決定を支援する～

- ① 共 催 一般社団法人長野県医療
ソーシャルワーカー協会
公益社団法人長野県社会福祉士会
長野県精神保健福祉士協会

- ② 日 時 2019年7月28日(土)13:00～16:30
- ③ 会 場 南長野医療センター篠ノ井総合病院
- ④ 参加者 92人
- ⑤ 内 容

○ 講 演

- ◇ テーマ ソーシャルワーク援助における「つまずき」とは
～ソーシャルワーカーが真の援助者であるために～

- ◇ 講 師 稲 沢 公 一 氏(東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授)

○ シンポジウム 人生における意思決定を支援する

- ◇ アドバイザー 稲 沢 公 一 氏(前掲)
- ◇ シンポジスト 土 屋 ゆかり 氏(長野市社会福祉協議会/“まいさぼ長野市”)
- ” 西 村 昭 太 氏(ケ・セラ社会福祉士事務所)
- ” 河 原 淳 史 氏(就労継続支援 B 型事業所 安曇野かんばにー)
- ◇ コーディネーター 植 竹 日 奈 氏(長野県医療ソーシャルワーカー協会)



3 重症心身障がい児・者支援シンポジウム

- ① 企画 東信地区
- ② 日時 2019年9月28日(土)13:30～16:30
- ③ 会場 佐久市立国保浅間総合病院中央棟4階講堂
- ④ 参加者 99人
- ⑤ 内容
 - 基調講演
 - ◇ 演題 長野県における
医療的ケア児の生活支援を考える
 - ◇ 講師 亀井智泉氏(信州大学医学部新生児学・療育学講座特任助教
長野こども療育推進サークルゆうテラス 代表)
 - シンポジウム 「地域で暮らし続けたい！そのために・・・今、必要なこと」
 - ◇ コーディネーター 亀井智泉氏(前掲)
 - ◇ シンポジスト 澤井信邦氏(佐久市立国保浅間総合病院 診療部長兼小児科医長)
" 馬場ひかり氏(小諸高原病院療育指導室 児童指導員)
" 竹内 豊氏(らいおんハートからだの児童デイサービス佐久南)
" 渡邊知子氏(当事者家族)



4 全国地域生活定着支援センター協議会 関東・甲信越ブロック 2019 年度専門研修会

- ① 主催 全国地域生活定着支援センター協議会
(長野県地域生活定着支援センター)
- ② 日時 2019年11月7・8日
- ③ 会場 第1日目 JA 長野県ビル アクティホール
第2日目 長野市生涯学習センター 大学習室
- ④ 参加者 160人
- ⑤ 内容
 - <第1日目>
 - 行政報告① 青木 出氏
(厚生労働省社会・援護局総務課)
 - 行政報告② 林 寛之氏(法務省保護局観察課)
 - 基調講演 演題 地域で本人の「危機対応レジリエンス」を支えるために
一 支える人垣「TS ネット」と介入支援プログラム「SOTSEC-ID」実践から一
講師 堀江 まゆみ氏(白梅学園大学教授)
 - <第2日目>
 - 第1分科会 『なぜやり直すことができたのか？当事者と支援者に聴く』
 - 第2分科会 『支援プロセスの中から支援のヒントを探る』



5 2019 年度 南信地区セミナー

- ① 企画 南信地区
- ② 日時 2020年2月16日(土) 13:30～15:30
- ③ 会場 諏訪市総合福祉センター(湯小路いきいき元気館)
- ④ 参加者 35人
- ⑤ 内容
 - 講演 「こども食堂の今とめざすもの」
 - ◇ 講師 青木 正照氏(特定非営利法人 NPO ホットライン信州専務理事)

6 災害時支援シンポジウム

- ① 企 画 東信地区
- ② 日 時 2020年2月22日(土)13:30～16:30
- ③ 会 場 佐久市立国保浅間総合病院 中央棟4階講堂
- ④ 参加者 56人
- ⑤ 内 容

～台風19号災害時の福祉関係者の経験に学ぶ～

シンポジスト：萩原 宏樹氏(上田市社会福祉協議会)

佐々木公子氏(佐久市中込地域包括支援センター)

大森 聡 氏(特別養護老人ホーム佐久穂愛の郷)

横谷 貴大氏(長野大学社会福祉学部学生)

コメンテーター：長峰 夏樹氏(長野県社会福祉協議会)

コーディネーター：端田 篤人氏(長野大学社会福祉学部准教授)

7 2019年度中信地区セミナー

- ① 企 画 中信地区
- ② 日 時 2020年2月22日(土) 14:00～16:00
- ③ 会 場 松本市松南地区公民館
- ④ 参加者 42人
- ⑤ 内 容
 - 講義1 基調講演 障がい特性を有する受刑者の支援について考える
 - ◇ 講師 吉田 弘毅氏(松本少年刑務所 統括矯正処遇官)
 - 講義2 「累犯高齢者・障がい者の支援について考える」
ー地域生活定着支援センターにおける取組からー
 - ◇ 講師 石川 貴浩氏(長野県地域定着支援センター長)

8 福祉専門職の使命・役割を考えるセミナー

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ① 企 画 北信地区
- ② 日 時 2020年2月29日(土) 13:00～16:00
- ③ 会 場 児童発達支援センター にじいろキッズらいふ
- ④ 内 容
 - 第1部 報告
 - ◆ 報告者：災害対応に従事した福祉専門職等のみなさん
 - ◆ コメンテーター：山口 光治 氏(淑徳大学副学長・総合福祉学部教授)
 - 第2部 参加者ディスカッション

Ⅲ 研修開催等事業

1 社会福祉士 基礎研修Ⅰ

- 日 程 2019年6月22日・10月12日(2日間)
- 会 場 豊科ふれあいホール
- 受講者 46人
- 内 容 社会福祉士会の歩み・組織、生涯研修制度、倫理綱領・行動規範の理解等
- 講 師 矢澤秀樹／小池正志／廣瀬豊／森田靖子

2 社会福祉士 基礎研修Ⅱ

- 日 程 2019年5月11日～2020年1月11日(月1回・9日間)
- 会 場 塩尻総合文化センター／松本市浅間温泉文化センター
- 受講者 40人
- 内容等 相談援助、社会福祉援助、ソーシャルワーク、コミュニティソーシャルワーク、社会資源開発、ネットワーク、福祉政策、社会福祉調査、スーパービジョン、権利擁護、実践研修
- 講 師 青木靖志／森貴男／佐藤もも子／長峰夏樹／勝又小百合／細田昌義／三村仁志
角田信治／土屋学弁護士

3 社会福祉士 基礎研修Ⅲ

- 日 程 2019年5月11日～2020年2月8日(月1回・10日間)
- 会 場 塩尻総合文化センター／松本市浅間温泉文化センター
- 受講者 32人
- 内容等 対人援助、事例研究、意思決定の支援、地域における福祉活動、組織マネジメント、リスクマネジメント、福祉サービスの質と評価、スーパービジョン、新人教育 等
- 講 師 合田盛人／森田靖子／森貴男／青木靖志／佐藤もも子／萱津公子／駒村和文／
細田昌義／勝又小百合

4 生活支援コーディネーターのための地域福祉コーディネート講座

- 共 催 長野県社会福祉協議会
- 日 程 2019年8月29日・30日、11月26日(3日間)
- 会 場 松本市勤労者福祉センター
- 受講者 62人
- 内 容 地域福祉コーディネーターを中心とした地域福祉の仕組みづくり、個と地域への一体的アプローチ、地域づくりの展開
- 講 師 矢澤秀樹／長峰夏樹／沖弘宣／磯村政範
- ファシリテーター
黒沢香菜、進藤竜一、林篤史、蒲生俊宣、等々力久志、有田和美、伊藤芳子、熊谷充子、
吉川智美、青木靖志、長戸桜子

5 社会福祉士実習指導者講習会

- 共 催 日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック長野県支部／長野大学
- 日 程 2019年6月22日・23日(2日間)
- 会 場 長野大学
- 受講者 36人
- 内 容 実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミング論、実習スーパービジョン論
- 講 師 森田靖子／細田昌義／三村仁志

6 社会福祉士全国統一模擬試験

- 日 程 2019年11月30日(土)
- 会 場 長野大学
- 受験者 81人

7 高齢者虐待対応現任者標準研修

- 期 日 2019 年6月 26 日、7 月 17 日、8月2日(3日間)
- 会 場 長野県総合教育センター(塩尻市)
- 受講者 128人
- 内 容 高齢者虐待防止法の理解、高齢者虐待対応と権利擁護、初動期段階・対応段階・終結と評価段階の留意点とポイント総合演習Ⅰ・Ⅱ 等
- 講 師
外部講師：岡室恭輔氏(長野県弁護士会員)
会員講師：矢澤秀樹／宮本雅透／川瀬初美／南澤保徳／勝又小百合／依田あけみ／金箱翼
ファシリテーター(上記会員を含む)
： 風間麻奈／衛藤史朗／小竹美千穂／岩原徳太郎／渋谷昌記／佐藤裕子／荒井俊光／高橋徹也／佐々木公子／樋熊真智子／木島美佐子／大谷庄司／坂口功／北原由紀

8 講師派遣事業

(1) 虐待対応専門職チーム派遣(協定に基づき弁護士とチーム派遣)

- 虐待対応専門職チーム派遣 4市町村自治体
- 派遣会員：南澤保徳(2)、衛藤史朗(2)
- 派遣弁護士：岡室恭輔弁護士、塩野悠子弁護士、五味弘行弁護士、太田明良弁護士

(2) キャリア形成訪問指導事業(県補助事業)

- 派遣事業所数 93 事業所
- 研修内訳
職業倫理(4) 地域包括ケアの推進(2) 成年後見制度入門(3) 権利擁護(7)
面接技法(4) 高齢者虐待対応(35) 障がい者虐待対応(5) 接遇・コミュニケーション(18)
スーパービジョン(1) コンプライアンスの推進(1) ターミナルケア・グリーフケア(7) その他(6)
- 派遣会員講師
青木靖志／鮎澤一樹／荒井俊光／磯村政範／岩澤純／衛藤史朗／沖弘宣／奥原和彦／金川優子
勝又小百合／金箱翼／萱津公子／唐木雅彦／川瀬初美／北沢将広／北原俊憲／北原由紀
熊本圭吾／小竹美千穂／小林俊之／駒村和文／佐藤裕子／佐藤もも子／渋谷昌記／杉浦剛
高橋徹也／土屋ゆかり／永井琢郎／長峰夏樹／西村昭太／野口一輝／平澤大介／藤森洋子
三村仁志／森田靖子／矢澤秀樹／横山昌由／吉澤利政／依田あけみ

(3) 介護支援専門員研修講師派遣(県社会福祉協議会)

- ① 初回更新研修及び専門研修 課程1『対人個別援助技術及び地域援助技術』
6 月 26 日 長野会場 会員講師：森貴男 助言者：小池輝昭、長戸桜子
7 月 3 日 松本会場 会員講師：中野純 助言者：守屋幹雄、佐々木公子
- ② 『相談援助の専門員としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎』人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理』
1 月に開催予定が台風 19 号の関係で中止

9 講師養成中央等派遣研修

- ① 2019 年度 未成年後見人養成研修(11 月 10 日・11 日、東京)春原伸行、山田兵治
- ② 基礎研修講師養成研修(11 月 23 日・東京) 中村修、熊本圭吾、長戸桜子

Ⅳ 広 報 事 業

1 広報紙発行

(1) 発行部数

2,400部(会員+事業所向け)

(2) 発行の概要

① 広報紙第172号 2019年5月1日発行

- ・「住まう」権利の視点から身元保証問題を考えるセミナー
- ・災害支援研修会 in 南信州
- ・4地区総会報告
- ・特集 2018年度 基礎研修を受講して
- ・全県・地区・委員会選出理事候補者
- ・信州ぐるっと!!・リレーエッセイ・地区学習会

② 広報紙第173号 2019年7月1日発行

- ・福祉まるごと学会 講演(内山二郎氏)
- ・ ” 実践研究発表、指定報告レポート
- ・新役員の抱負
- ・特集 新人さん、いらっしゃい!
- ・信州ぐるっと!!・リレーエッセイ・地区学習会

③ 広報紙第174号 2019年9月1日発行

- ・「いつでも学びを深めよう」長戸副会長
- ・『ソーシャルワーク援助における「つまずき」とは』
- ・災害福祉支援の充実を目指して
- ・特集 災害支援～社会福祉士として～
- ・信州ぐるっと!!・リレーエッセイ・地区学習会

2019.7.1
第173号

ながの
社会福祉士会
NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会
会長：富澤公子
編集：広報編集委員会

事務局：〒380-0836
長野市南信州685-2 長野県食糧会館6F
発行部数：2,300部

TEL：026-266-0294
FAX：026-266-0339
E-mail：info@nacsow.jp
HP：http://nacsow.jp

2019年度 福祉まるごと学会
実践研究発表 並びに 指定報告レポート
長野県社会福祉士会 新時代の役割と体制図出!!
リレーエッセイ～リレー形式の寄稿～

1
2～3
4～5
5

特集 新人さん、いらっしゃい!!
長野地区学習会
信州ぐるっと!!
今後の予定
編集後記

6～7
8
8
8
8

Nagano Association Certified Social Workers

2019年度 福祉まるごと学会
～社会福祉士・専門職として、実践を言葉で伝える力を高める!～

去る6月8日は、茅野市中央公民館にて、県下から133人が参加して、福祉まるごと学会が開催された。前半は、実践研究発表と2つの指定報告を行い、後半はフリージャーナリスト・内山二郎氏を迎えての講演が行われた。

【講演】 参加者を惹きつける「場」の作り方とファシリテーションの技法

講師 内山二郎氏 (フリージャーナリスト)

芝居づくりと地域づくり

神奈川で生まれ、現場で暮らしている人と生活をともにし、観客やつづきを受け止め、映像にすることが私の原点である。

体調不良で長野に戻った際、地域をテーマに若者や若年寄りと一緒に、話し合いをしながらお芝居をつくった。このプロセスは、地域をつくりあげるプロセスと同じと実感した。

社会参加で生き残るようになる

昔は、サービスが整っていないなかで地域の中で、見守り、助け合いがあったが、現在はなくなってきた。介護保険法も改正され、どういふコミュニティが必要か考える時にきている。

社会参加した人、しない人では、生き残る。社会とつながって生きることが重要で、色々と役割を持って行うことが、認知症予防にもつながる。その人ならではの長所ある長寿社会の実現が必要である。地域の現状を知った、関心事をみついたりなど、その自覚性や行動に対して、社会参加の意味づけをすることが大事なことである。

ウィンウィン理論

ワークショップは、それぞれの意見から創造的解決案を生み出す「ウィンウィン理論」や自由な意見交換、

協働作業が気づきや新しい発見が広がる「ジョハリの窓」により新たな方向性を見いだすことができる。

ワークショップに参加する時は、①他人の意見を否定しない②全員参加の原則③楽しさや感性を大切に④一人ひとりが主役⑤自由な発想を存分に活かす⑥相乗(シナジー) 効果の妙を知る、以上の6つの原則を守ることが大切である。ワークショップにおけるプログラムの展開も流れのなかで重要であるといえる。

緊張を解し、楽しい雰囲気をつくること

ファシリテーターの役割は、参加者の気持ちや意見を中立的な立場で引き出し、合意形成に導く「産婆役」といえる。求められることは、みんなはリラックスして、本音で意見が言え、建設的に話し合いが進められるように、緊張をほぐし、楽しい雰囲気をつくりだす技能(スキル)が求められる。ファシリテーターは、気持ちの変化を認めながら、傾聴しつつ、口調、呼吸のペースやボディランゲージを大切に進めることが必要である。

その場を可視化する技法として、カードセッション法とファシリテーション・グラフィック、寄せ書き風パスセッションや旗揚げアングレート方式ディスカッションを用いると、課題の共有がしやすいといえる。

2019.5.1
第172号

ながの
社会福祉士会
NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会
会長：富澤公子
編集：広報編集委員会

事務局：〒380-0836
長野市南信州685-2 長野県食糧会館6F
発行部数：2,300部

TEL：026-266-0294
FAX：026-266-0339
E-mail：info@nacsow.jp
HP：http://nacsow.jp

長野県社会福祉士会 東北信地区セミナー
東北信地区セミナー
4地区総会報告
信州ぐるっと!!
北信地区学習会

1～2
3
4
4
5

リレーエッセイ～リレー形式の寄稿～
認定社会福祉士取得に必要な基礎研修
全県・地区・委員会選出理事候補者(選出経路)
今後の予定
編集後記

5
6～7
8
8
8

Nagano Association of Certified Social Workers

2019.7.1
第174号

ながの
社会福祉士会
NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会
会長：富澤公子
編集：広報編集委員会

事務局：〒380-0836
長野市南信州685-2 長野県食糧会館6F
発行部数：2,400部

TEL：026-266-0294
FAX：026-266-0339
E-mail：info@nacsow.jp
HP：http://nacsow.jp

いつでも学びを深めよう!!
ソーシャルワークリーダー
講演・シンポジウム
特集 災害支援～社会福祉士として～
災害福祉支援の充実を目指して

1
2～3
4～5
6

理事会からの発信
南信地区学習会
リレーエッセイ～リレー形式の寄稿～
信州ぐるっと!!
今後の予定
編集後記

7
7
8
8
8
8

2019.9.1
第174号

ながの
社会福祉士会
NEWS

発行：公益社団法人長野県社会福祉士会
会長：富澤公子
編集：広報編集委員会

事務局：〒380-0836
長野市南信州685-2 長野県食糧会館6F
発行部数：2,400部

TEL：026-266-0294
FAX：026-266-0339
E-mail：info@nacsow.jp
HP：http://nacsow.jp

いつでも学びを深めよう!!

「いつでも学びを深めよう」
ソーシャルワークリーダー
講演・シンポジウム
特集 災害支援～社会福祉士として～
災害福祉支援の充実を目指して

1
2～3
4～5
6

理事会からの発信
南信地区学習会
リレーエッセイ～リレー形式の寄稿～
信州ぐるっと!!
今後の予定
編集後記

7
7
8
8
8
8

Nagano Association Certified Social Workers

2019年度 福祉まるごと学会
～社会福祉士・専門職として、実践を言葉で伝える力を高める!～

去る6月8日は、茅野市中央公民館にて、県下から133人が参加して、福祉まるごと学会が開催された。前半は、実践研究発表と2つの指定報告を行い、後半はフリージャーナリスト・内山二郎氏を迎えての講演が行われた。

【講演】 参加者を惹きつける「場」の作り方とファシリテーションの技法

講師 内山二郎氏 (フリージャーナリスト)

芝居づくりと地域づくり

神奈川で生まれ、現場で暮らしている人と生活をともにし、観客やつづきを受け止め、映像にすることが私の原点である。

体調不良で長野に戻った際、地域をテーマに若者や若年寄りと一緒に、話し合いをしながらお芝居をつくった。このプロセスは、地域をつくりあげるプロセスと同じと実感した。

社会参加で生き残るようになる

昔は、サービスが整っていないなかで地域の中で、見守り、助け合いがあったが、現在はなくなってきた。介護保険法も改正され、どういふコミュニティが必要か考える時にきている。

社会参加した人、しない人では、生き残る。社会とつながって生きることが重要で、色々と役割を持って行うことが、認知症予防にもつながる。その人ならではの長所ある長寿社会の実現が必要である。地域の現状を知った、関心事をみついたりなど、その自覚性や行動に対して、社会参加の意味づけをすることが大事なことである。

ウィンウィン理論

ワークショップは、それぞれの意見から創造的解決案を生み出す「ウィンウィン理論」や自由な意見交換、

協働作業が気づきや新しい発見が広がる「ジョハリの窓」により新たな方向性を見いだすことができる。

ワークショップに参加する時は、①他人の意見を否定しない②全員参加の原則③楽しさや感性を大切に④一人ひとりが主役⑤自由な発想を存分に活かす⑥相乗(シナジー) 効果の妙を知る、以上の6つの原則を守ることが大切である。ワークショップにおけるプログラムの展開も流れのなかで重要であるといえる。

緊張を解し、楽しい雰囲気をつくること

ファシリテーターの役割は、参加者の気持ちや意見を中立的な立場で引き出し、合意形成に導く「産婆役」といえる。求められることは、みんなはリラックスして、本音で意見が言え、建設的に話し合いが進められるように、緊張をほぐし、楽しい雰囲気をつくりだす技能(スキル)が求められる。ファシリテーターは、気持ちの変化を認めながら、傾聴しつつ、口調、呼吸のペースやボディランゲージを大切に進めることが必要である。

その場を可視化する技法として、カードセッション法とファシリテーション・グラフィック、寄せ書き風パスセッションや旗揚げアングレート方式ディスカッションを用いると、課題の共有がしやすいといえる。

V 成年後見事業(権利擁護センター ばあとなあながの)

1 成年後見人材育成委託研修(共催:山梨県社会福祉士会)

- 期 日 2019年7月27・28日、9月7・8日
- 会 場 松南地区公民館(なんなんひろば)
- 受講者 20人(山梨県6人)
- 内 容 成年後見制度の解説、成年後見活動における判断能力のとらえ方、社会福祉士と成年後見権利擁護の視点から、財産法の基礎、財産管理のための知識、後見事務の実際、家庭裁判所の実務の理解、家族法の基礎、身上監護のための知識
- 講 師 土屋 学氏(長野県弁護士会員)
中村伸治氏(北アルプス医療センター精神科医)
渡邊貴樹氏(リーガルサポートながの会員)
長藤美樹氏(長野家庭裁判所松本支部主任書記官)
- 会員講師:萱津公子、上條弘、北原俊憲、小池輝昭、上條通夫、毛利公子
- ファシリテーター:神津直也、祢津真由美、落合秀幸(上記会員を含む)

2 ばあとなあ名簿登録研修(共催:山梨県社会福祉士会)

- 期 日 2019年10月5日
- 会 場 松南地区公民館(なんなんひろば)
- 受講者 15人(山梨県3人)
- 内 容 ばあとなあ仕組み、ばあとなあ受任の実際、受任後の実務、演習、後見人のリスクマネジメント
- 会員講師:守屋幹雄、鳥羽弘幸、高橋保行
- ファシリテーター:上條弘、祢津真由美、神津直也、山本杉樹

3 ばあとなあながの4地区全体研修会

- 期日・会場 東信 7月13日 35人 佐久平交流センター
中信 8月25日 36人 松南地区公民館
南信 9月 8日 20人 伊那市社会福祉協議会
中信 11月14日 16人 松本市内田公民館
北信 1月26日 34人 長野市安茂里公民館
- 受講者 権利擁護センターばあとなあながの会員
- 内 容 「受任直後の事務」講義・グループワーク
「後見実務と記録」講義・実習
「福祉サービス利用における実務と留意点」講義・グループワーク
「後見人の倫理」講義・グループワーク
- 会員講師:宮入典子、春原伸行、中野純、上條弘、三村仁志、守屋幹雄、衛藤史朗、関裕一、熊谷龍司、西澤智美、小林俊之、小池正志、熊本圭吾、佐藤優子

4 成年後見制度利用促進事業(県補助事業)

① 成年後見制度利用促進実務担当者研修会

- 期 日 2019年11月7日(木)
- 会 場 豊科学習交流センター

○ 受講者 102 人

○ 内 容

◆ 基調講義 成年後見制度利用促進に向けた体制整備について

◇ 講 師 川 端 伸 子 氏

(厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進専門官)

◆ 講義・演習 中核機関の設置・地域連携ネットワークの構築に向けて

◇ 講 師 矢 澤 秀 樹 氏(日本社会福祉士会・成年後見制度利用促進調査研究事業委員

伊那市社会福祉協議会・成年後見センター所長)

② 成年後見制度パンフレットの作成配布

○ 編集委員会 2019 年9月 13 日(金)

○ 編 集 委 員 岡室恭輔(県弁護士会)、高野哲浩(リーガルサポートながの)、野口一輝(会員)

○ パンフレット 5,520 部作成配布(A3版 2 つ折り、オールカラー、10 広域圏オリジナル)

③ 法人後見の取組み支援

○ 支 援 内 容 成年後見制度利用促進のために、法人後見(社協)等の取組みについて、成年後見に関わる専門職(弁護士、リーガル、社会福祉士)が会議等で助言を行った。

○ 支 援 対 象 後見センター未設置市町村(須高地域／上水内町村地域)

日常生活自立支援事業基幹的社協等(駒ヶ根市／南箕輪村／飯島町／池田町)

○ 派遣専門職 岡室恭輔(県弁護士会)、戸田雅博・高野哲浩(リーガルサポートながの)

○ 派 遣 会 員 衛藤史朗、野口一輝、小池正志

5 ばあとなあながの業務監査委員会

○ 期 日 2020 年 2 月 6 日(木)

○ 会 場 長野県食糧会館 2 F 会議室

○ 内 容

① ばあとなあ事業・運営、後見受任者の活動内容等の業務監査

② ばあとなあ業務・運営等に対する業務監査委員会からの指導・助言

＜ばあとなあ業務監査委員会委員＞

◎ 小山順子(ばあとなあ会員)

・ 岡室恭輔(弁護士)

・ 石山佳子(精神保健福祉士)

・ 傳田景光(認知症の人と家族の会県支部長)

・ 新村 潤(会員)

○ 高野哲浩(司法書士)

・ 宮澤政彦(医師)

・ 尻無浜博幸(松本大学教授)

・ 丸山克之(ばあとなあ会員)

・ 野口一輝(会員)

Ⅵ 生活支援等事業(受託事業)

地域生活定着支援センター事業

1 受託事業

高齢者や障がい者が矯正施設退所後、自立生活が困難な場合、保護観察所と協働して、福祉サービスの利用を援助すること等により、自立生活ができるよう支援を行う。

長野県から委託を受けて事業を実施。

2 主な事業内容

① コーディネート業務

保護観察所からの依頼に基づき、対象者に対してニーズの確認を行い、受入福祉事業所の斡旋、福祉サービスに関わる申請支援を行う。

② フォローアップ業務

コーディネート業務が終了後、地域に定着するまでの間必要に応じて、本人及び福祉事業所等に対して支援を行う。

③ 相談支援業務

被疑者・被告人段階での障がい者・高齢者の支援や矯正施設から退所した方の福祉サービス利用に関して、本人や関係者からの相談に応じ、コーディネート業務同様の相談・支援を行う。

3 支援実績

業 務 区 分 区 分		コーディネート			フォローアップ		
		R 元	H30	H29	R 元	H30	H29
支 援 人 数	高 齢 者	14	10	17	15	12	10
	知的障がい者	12	10	10	9	8	9
	精神障がい者	13	8	3	5	1	0
	身体障がい者	2	2	2	3	4	1
	計	41	30	32	32	25	20
相 談 経 路	前年度からの継続	13	13	13	21	17	9
	保護観察所	22	12	14	5	3	2
	他県センター	6	5	5	6	5	9
	計	41	30	32	32	25	20
退 所 時 の 状 況	福 祉 施 設	2	0	0	※ フォローアップは、施設に正式入所前のショートで繋ぐ場合、また病院入院の場合も含め期間限定のため、定着支援センターでは満期出所支援のコーディネート業務と全く同じである。		
	居 宅 生 活	5	2	3			
	更生保護施設	3	2	7			
	救 護 施 設	0	3	0			
	病 院	1	1	1	※ フォローアップは、正式入所できても問題行動を起こし出所5年経過しても継続支援しているケースがある。		
	他県帰住等	13	6	5			
	特別調整辞退	2	3	3			
	計	26	17	20			

4 セミナー・研修会

- (1) 全国地域生活定着支援センター協議会 関東・甲信越ブロック 2019年度 専門研修会
(詳細:セミナー開催事業に記載)

○ 期日・会場 2019年11月7日 JA長野県ビル アクティーホール 131人
2019年11月8日 長野県長野市生涯学習センター大学習室1, 2 155人

(2) 矯正施設視察研修会

- (高齢者機関対象) 令和元年 9月11日(水) 長野刑務所 16人
令和元年 9月24日(火) 松本少年刑務所 15人
- (障害者機関対象) [須高地域] 令和 2年 1月27日(月) 長野刑務所 25人

5 運営体制等

- 困難ケースの指導・助言を中心に、定着支援センター運営委員会を開催
- 職員は、センター長及び支援スタッフ 計4人

再犯防止ネットワーク推進事業

1 受託事業

国の再犯防止推進法や再犯防止推進計画に基づく効果的な再犯防止対策の一環として、再犯を防止するネットワークの構築と個別対応を行うモデル事業を長野県から受託。2018年度から2020年度まで実施予定。

2 主な事業内容

(1) ネットワーク協議会等の開催

年数回、各圏域に支援対象者や刑余者に対する事例や情報共有、協力機関における対策等について研修を行うとともに、福祉関係者と司法関係者の相互理解及び役割分担等について県域及び各圏域の事前協議の場であるネットワーク協議会を開催し、連携体制の構築を図った。

(2) 個別事案への即応体制の構築

コーディネーターを配置し、支援者へ寄せられた個別事案(不起訴処分となった者等の入口支援等)のうち、高齢・障がい等の福祉的ニーズを要する人等、支援者単独では対応困難な事例に即応できる体制を構築するとともに、ネットワーク協議会における援助者への助言・支援を行った。

3 協議会・研修会

(1) 2019 年度再犯防止推進ネットワーク事業 圏域協議会・研修会

○ 第1回

期 日： 2019 年6月 20 日(木)～ 7月 25 日(木)

会 場： 県下 10 広域圏毎会場

出席者： 195人

内 容： 講 演 演 題 「地域における再犯防止」

講 師 端 田 篤 人 氏(長野大学 准教授)

青 木 正 心 氏(長野刑務所 福祉専門官)

小 林 和 恵 氏(松本少刑 看守部長)

青 木 謙 一 氏(青木法律事務所 弁護士)

及 川 裕 貴 氏(青木法律事務所 弁護士)

○ 第2回

期 日： 2020 年2月7日(金)～ 2月 28 日(金)

会 場： 県下 4 広域地区毎会場 (内、中信地区はコロナウイルス感染予防のため中止)

出席者： 84 人

内 容： 講 演 演 題 「地域における再犯防止」

講 師 萩 谷 遼 氏(長野少年鑑別所 専門官)

北 原 修 氏(松本地区更生保護協力雇用主会 事務局長)

(2) 再犯防止推進ネットワーク構築事業協議会(県)

日 時 2019 年9月 10 日(火)

会 場 長野保護観察所

出席者 23人

児童虐待・DV24 時間ホットライン業務

1 受託事業

「児童虐待・DV24時間ホットライン」を設置し、児童虐待及びDVに関する通告等に24時間態勢で電話相談対応する業務。

相談件数の増加と共に、内容が一層複雑化しており、電話相談対応に高度な専門性が求められている中で、電話相談対応の質の維持向上を図るため、公募型プロポーザル方式により平成 28 年度から受託。

2 業務の内容

- 電話による児童虐待及びDVに関する通告、通報及び緊急の相談等の受理
- 緊急事案を受理した際の児童相談所又は女性相談センターへの速やかな連絡
- その他、電話相談業務全般に付帯する業務

3 業務の体制

- 1日24時間(夜間・深夜・早朝含む)、365日電話相談を受ける相談員(臨時職員)6人を雇用して対応
- 毎月1回 電話相談員定例会を開催し情報の共有、相談業務の質の向上を図った。

4 通告通報・相談件数等

2019 年度 「児童虐待・DV24 時間ホットライン」受付及び処理状況（4～3 月）

1 通告通報・相談件数

2 処理状況

	相談種別	前年度	件数	構成比%		緊急連絡	助言・ 傾聴	他機関 紹介	その他
児童 関係	児童虐待	172	154	12.6%		113	14	23	4
	養護	121	147	12.0%		66	25	50	6
	その他(*1)	696	738	60.2%		596	48	46	48
	小計	989	1039	84.8%		775	87	119	58
DV 女性 関係	DV被害	58	43	3.5%		7	10	26	0
	夫婦問題	30	28	2.3%		1	7	20	0
	親族の暴力	12	11	0.9%		1	3	6	1
	その他(*2)	47	44	3.6%		16	4	21	3
	小計	147	126	10.3%		25	24	73	4
その他(*3)		88	60	4.9%		0	19	20	21
合計		1,224	1,225	100.0%		800	130	212	83

* 1 「児童関係」の「その他」は、虐待以外の児童・生徒からの相談や、関係機関等からの業務連絡

* 2 「DV・女性関係」の「その他」は、親族問題、住居問題などの相談や、関係機関等からの業務連絡

* 3 「児童関係」、「DV・女性関係」以外の「その他」は、問い合わせ電話など

VII 法人運営

1 定時総会

- 期日:2019 年6月8日(土) 会場:茅野市中央公民館
 - 出席正会員数(委任状を含む) 703人
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 平成 30 年度 収支決算について
 - 第2号議案 次期役員(理事・監事)の選任について
 - 第3号議案 委員会設置規則の一部改正について
 - 第4号議案 役員選出規則の一部改正について
 - 報告事項
 - (1) 平成 30 年度 事業報告について
 - (2) 2019 年度 事業計画について
 - (3) 2019 年度 収支予算について
 - (4) 個人情報保護規程について
 - (5) 情報開示取扱い規程について
 - (6) 地区活動運営規程について
 - (7) 大規模災害支援積立金設置・運用規程について

2 監査会

- 期日: 2019 年 4月 20 日(土)、11 月 5日(火)
- 会場:事務局

3 理事会

- 第1回通常理事会 2019 年4月 20 日(土) 会場:長野県食糧会館2F 会議室
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 平成30年度 事業報告について
 - 第2号議案 平成30年度 決算報告について
 - 第3号議案 職員給与規程の一部改正について
 - 第4号議案 次期役員(理事・監事)候補者の選任について
 - 第5号議案 倫理委員会委員の選任について
 - 第6号議案 ばあとなあながの業務監査委員会委員の選任について
 - 第7号議案 福祉まると学会運営委員会委員の選任について
 - 第8号議案 災害福祉支援運営委員会委員の選任について
- 臨時理事会 2019 年 6 月 8 日(土) 会場:茅野市中央公民館
 - 決議・承認事項
 - 第 1 号議案 長野県社会福祉士会 正副会長の選任について
 - 第 2 号議案 常任理事の選任について
 - 第 3 号議案 生涯研修センターのセンター長の選任について
- 第2回通常理事会 2019 年6月 22 日(土) 会場:障がい者支援施設ささらの里
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について
- 第3回通常理事会 2019 年8月 24 日(土) 会場:障がい者支援施設「ささらの里」
 - 決議・承認事項
 - 第 1 号議案 正会員の入会について
- 第4回通常理事会 2019 年 11 月 16 日(土) 会場:県下3会場(スカイプによる会議)
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について
 - 第2号議案 職員給与規程の一部改正について

第3号議案 大規模災害支援積立金設置・運用規程の一部改正

第4号議案 会員管理の自主管理と運営安定化積立金の取り崩しについて

第5号議案 2020 年度 定時総会の開催について

● 臨時理事会 2020 年 1 月 10 日（金） 電磁的方法による理事会決議

○ 決議事項

「高齢者への虐待防止と高齢者の尊厳保持に向けて」会長声明の決議について（全文次ページ）

● 第5回通常理事会 2020 年 1 月 25 日（土） 会場：障がい者支援施設ささらの里

○ 決議・承認事項

第1号議案 正会員の入会承認について

第2号議案 賛助会員の入会承認について

第3号議案 苦情対応規則の一部改正について

第4号議案 倫理委員会設置規程の一部改正について

第5号議案 苦情対応特別委員会委員の選任について

第6号議案 懲戒処分の公表について

第7号議案 苦情申立にかかる処分について

● 第6回通常理事会 2020 年 3 月 7 日（土） 会場：県下3会場（スカイプによる会議）

○ 決議・承認事項

第1号議案 正会員の入会について

第2号議案 2020 年度 事業計画について

第3号議案 2020 年度 収支予算について

第4号議案 2020 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

5 常任理事会

● 4 月 20 日／6 月 22 日／8 月 24 日／11 月 16 日／1 月 25 日

6 正副会長会議

● 4 月 11 日／4 月 20 日／5 月 21 日／6 月 22 日／7 月 30 日／8 月 24 日／10 月 4 日／11 月 11 日／11 月 16 日／12 月 10 日／1 月 10 日／1 月 25 日／2 月 15 日／3 月 7 日

7 台風第 19 号災害支援

- 10 月 15 日 大規模災害発生時対応要綱に基づき、会長を本部長に災害支援本部の設置
長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会との連携で被災地支援者登録者を募集
- 10 月 17 日 被災地支援者登録を呼びかけ（一斉メールの発信、ホームページへのアップ）
- 11 月 1 日 被災地支援者登録を呼びかけ（広報紙同封しての依頼）
- 11 月 2 日 日本社会福祉士会災害支援担当理事・事務局長が先遣隊として来県
- 12 月 6 日 登録者 40 人。延べ 115 人を派遣
（福祉チーム員登録者 6 人除く。チーム員は県災害派遣福祉チーム員養成研修修了者）
- 被災地活動支援金 13,200 円（長野市社会福祉協議会に）
 - ・ 11 月 7 日 成年後見制度利用促進実務担当者研修会受講者
 - ・ 11 月 7 日 定着支援センター関東甲信越ブロック専門研修会受講者

8 政策の提言・会長声明

(1) 「障がい者共生社会づくり条例(仮称)」検討報告書(案)に関する意見・提案

● 2019 年 12 月 27 日 長野県健康福祉部障がい者支援課長宛て

● 提案の概要

- 条例の目的・目指すべき姿 「障がいの有無 重い・軽いに関わらず」といった視点を入れることを提案
- 条例の基本理念、障がい当事者の主体的役割について「当事者の主体性をもった活動への参加」等の表現への踏み込みを提案
- その他、福祉及び医療、教育、就労、災害・情報のバリアフリー、住環境の整備、障がい者スポーツ、文化芸術活動、権利擁護、障がい者差別の禁止を担保する仕組みについて、28 項目の提案

(2) 高齢者への虐待防止と高齢者の尊厳保持に向けて(会長声明)全文

2019年12月に厚生労働省は、平成30年度 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(以下「高齢者虐待防止法」という。))に基づく対応状況調査結果を公表しました。

調査結果によれば、養介護施設従事者等による高齢者虐待が大幅な増加(前年比21.8%増)となっており、高齢者の生活を支える立場にある福祉の担い手による虐待が深刻な状況にあることが明らかになりました。また、長野県内においても、9事業所(施設)での高齢者虐待が認定されています。

国は、2006年4月に高齢者の尊厳保持と高齢者虐待の防止、高齢者虐待を受けた高齢者に対する保護などを定めた高齢者虐待防止法を施行しました。

高齢者虐待防止法では、老人福祉法や介護保険法に規定する養介護施設又は養介護事業の業務に従事する者による高齢者虐待を定義づけ、事業者に対し、虐待を発生させない事業所・施設づくりに向けた研修の実施、虐待防止等の措置を講ずるものとしています。

しかし、2019年12月の新聞報道によると、長野県内の老人福祉法に基づく有料老人ホームの要件を満たしたサービス付き高齢者住宅において定員超過に加え、利用者7人に対する身体拘束による高齢者虐待が発生したことが明らかとなりました。

福祉サービスを必要とする高齢者には、身体機能や認知機能の低下により、虐待等の権利侵害を受けても、自ら助けを求め、または逃げ出すことができない状況にある人もいます。さらに、介護無くして生活できない状況に置かれていることも少なくなく、高齢者への虐待はこうしたサービスを提供する側と受ける側の力関係の差によるところもあり、許すことはできません。

一方で、介護分野の有効求人倍率は、全産業と比較して高い水準で推移しており、供給よりも需要が上回る人材不足※が生じ、無資格者に頼らざるを得ない福祉現場の実態もあります。人材不足は、従事者等を疲弊させるばかりか、余裕のない介護や支援に繋がり、不適切な介護の連続から結果的に虐待を誘発する要因ともなります。さらなる福祉・介護人材の確保に向けた施策に取り組む必要があります。

また、福祉従事者としての倫理、介護技術や認知症に対する理解などの十分な教育を受けないまま、過重な業務を担い、精神的・技術的なサポートも受けられない職員にとっては、高齢者との接し方や適切な介護方法などが分からず、虐待として表面化することもあります。虐待の発生要因は、虐待をした従事者個人の問題のみならず、高齢者福祉に携わる法人や事業者、管理者が施設全体の問題として捉えることが重要です。

適正な介護サービスを提供する上で、理念や方針を明確にし、利用者に対する虐待防止と尊厳を保持(人格尊重)することは、利用者保護の観点からだけでなく、事業者自身の立場の明確化と保護の観点からも極めて重要であり、このことは介護保険法でも規定されています。

私たち長野県社会福祉士会は、養介護施設従事者等による虐待の発生状況や県内での虐待事案に対する報道を重く受け止め、社会福祉士の倫理綱領に従い、「高齢者虐待は高齢者への最大の権利侵害である」という認識のもと、高齢者虐待防止法や介護保険法で規定する「高齢者の尊厳保持」の実現を目指して、高齢者虐待対応研修やキャリア形成訪問指導事業、長野県介護士会との協定に基づく虐待対応専門職チーム派遣等の事業に、より一層積極的に取り組んでいくことをここに声明します(※厚生労働省福祉介護人材の確保に向けた取組については別用

2020年1月14日

公益社団法人長野県社会福祉士会
会長 萱津 公子

第三種郵便物認可

虐待施設全体の問題として 命削られる扱い許されない

県社会福祉士会(長野市)の萱津公子会長は14日、県庁で記者会見し、高齢者への虐待防止と尊厳保持を旨とする声明を発表した。昨年12月に信濃毎日新聞が報道した松本市のサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)での過度な身体拘束を受け続けた対応、同月、厚生労働省の2018年度県内9事業所で高齢者虐待が認定されたこと公表しており、萱津会長は「重く受け止める」とした。

松本のサ高住 身体拘束受け

県社会福祉士会が声明

声明では、十分な教育を受けていないことが重要」とはせずに過重な業務を担う職員が高齢者への接し方や適切な介護方法が分からず、虐待と見なされることがある」として表面化することもある」といった言明で命が削られる扱いを許されるものではない」と強調。少しでも多くは、虐待を個人の責任としない」と強調。少しでも多くは、虐待を個人の責任としない」と強調。少しでも多くは、虐待を個人の責任としない」と強調。

扱った研修を受けられるよう取り組むとともに、虐待が起きた施設に対する改善策については「指導が終わるのではなく、(会社として)改善が継続するよう行政をバックアップしていきたい」とした。

その上で介護施設事業者には、あらためて、「高齢者の人生の最後、その人の人生を預かっていることをしっかりと認識した経営をしてほしい」と求めた。

本紙が報じた松本市内のサ高住を巡っては、市が虐待の通報を受けて立ち入り調査し、入所者1人に不適切な身体拘束があったことを確認。市は虐待として県に報告し、「事業所全体で実施された」との指摘を受けた。市は施設名を明らかにしていない。

市高齢福祉課は取材に、虐待は権利を侵害する問題だとして、上で、「高齢者虐待防止のため、被害者本人だけでなく介護する側も必要に応じて研修を行う」としている。

Ⅷ 委員会・地区活動・全国会議等

1 委員会活動

(1) 一般委員会

① 福祉活動委員会(35人)

○ 6月 8日(土)総会時委員会 18人

② 虐待対応委員会(34人)

○ 4月25日(木)虐待対応標準研修講師等打合せ会議 12人

弁護士会との虐待対応チーム打合せ会議 12人

○ 6月 8日(土)総会時委員会 21人

○ 7月20日(土)キャリア形成訪問事業資料(シラバス)の検討・作成 6人

○ 2月 2日(日)キャリア形成訪問事業資料(シラバス)の検討・作成 6人

③ 広報編集委員会(15人)

○ 6月9日(土)総会時委員会 12人

○ 通年 広報紙の編集・校正作業(隔月奇数月1日発行に合わせて)

(2) 事業委員会

① 生涯研修センター運営委員会(16人)

○ 6月 8日(土)総会時委員会 10人

○ 6月17日(月)地域CO研修打合せ会 5人

○ 7月21日(日)生涯研修センター運営委員会 11人

○ 9月22日(日)障がい者の地域生活支援研修打合せ会 8人

○10月19日(土)生涯研修センター運営委員会 8人

② 権利擁護センターばあとなあ運営委員会(47人)

○ 5月11日(土)第1回運営委員会 22人

○ 6月 8日(土)総会時委員会 24人

○ 6月29日(土)第1回継続研修部会 10人

○ 9月21日(土)第2回運営委員会 22人

○12月21日(土)第3回運営委員会 21人

○ 3月 1日(日)第4回運営委員会(役員会のみ) 6人

③ 地域生活定着支援センター運営委員会(9人)

○ 6月18日(火)第1回運営委員会 6人

○ 8月 8日(木)第2回運営委員会 5人

○10月10日(木)第3回運営委員会 9人

○ 1月23日(木)第4回運営委員会 7人

(3) 特別委員会

① 倫理委員会(5人)

○ 5月29日(水)第1回倫理委員会 5人

○ 1月16日(木)第2回倫理委員会 5人

※ 第1回委員会で調査委員選任後、申立人・被苦情申立人及び関係者への事情聴取

※ 調査委員報告書に基づき第2回委員会で審査。1月25日理事会に審査報告書を提出

② 福祉まると学会運営委員会(10人)

○ 7月24日(水)第1回運営委員会 6人

○12月19日(木)第2回運営委員会 8人

③ 災害福祉支援運営委員会(8人)

○ 6月8日(土)総会時委員会 4人

(4) プロジェクト会議等

① 成年後見制度利用促進プロジェクト(9人)	
○11月7日(月)三士会連携会議	10人
② 身元保証人問題を考えるプロジェクト(12人)	
○ 9月3日(火)プロジェクト会議	13人
○11月29日(金)長野県社協経営者協議会理事会と意見交換	3人
③ 社会福祉士養成の検討プロジェクト(12人)	
○ 9月16日(月)プロジェクト会議	7人
④ 中期計画策定推進プロジェクト(8人)	
○ 9月24(火)第1回プロジェクト会議.....	7人
○12月16(月)第2回プロジェクト会議.....	8人
○ 1月20(月)第3回プロジェクト会議.....	6人
○ 2月25(火)第4回プロジェクト会議.....	8人

2 地 区 活 動

(1) 東信地区

① 学習会	
○ 5月18日(土)事例検討会	20人
○ 8月 4日(日)「スクールソーシャルワークの現場から」	13人
○ 8月24日(日)「社会福祉士の経験談や想いを聴こう！」佐久	28人
○10月26日(土)「社会福祉士の経験談や想いを聴こう！」上小	18人
○11月 1日(金)多職種ごちゃまぜ学習会	30人
② 役員会	
○ 6月8日(土)総会時三役会	4人
○11月12日(火)地区三役会	4人
○12月17日(火)地区役員会	18人
○ 1月28日(火)地区役員会	9人
③ 地区総会	
○ 2月22日(土)佐久市立国保浅間総合病院 中央棟4階講堂	151人

(2) 北信地区

① 学習会	
○10月18日(金)多職種ごちゃまぜ学習会	中止
○11月19日(火)「元被虐待児と専門職で考える児童虐待を防止するための支援」	20人
○11月23日(土)リーガルサポートながのとの合同研修会.....	10人
○11月29日(金)「台風19号被災について考える」	18人
○12月20日(金)ばあとなあ定例会.....	12人
○3月30日(月)「社会福祉士の視点で医療・医療連携を考える」	中止
② 役員会	
○ 6月 8日(土)総会時三役会	4人
○ 7月24日(水)地区役員会	20人
○ 1月28日(火)地区役員会	9人
③ 地区総会	
○ 2月29日(土)児童発達支援センター にじいろキッズらいふ	中止

(3) 中信地区

① 学習会	
○ 8月24日(水)「行政職員から見た虐待対応」	21人

○11月 8日(金)多職種ごちゃまぜ学習会	12人
○11月18日(月)ぱあとなあ大北ブロック学習会	7人
○12月19日(木)「社会福祉士ってなんだ」	19人
○ 2月8日(土)弁護士と社会福祉士との共同	8人
○ 2月8日(土)塩尻木曽ブロック成年後見制度促進法について	16人
② 役員会	
○ 6月 8日(土)総会時三役会	4人
○11月20日(水)地区役員会	7人
③ 地区総会	
○ 2月22日(土)松本市松南地区公民館2階 会議室4	152人
(4) 南信地区	
① 学習会	
○ 7月24日(水)上伊那ブロック「福祉まるごと学会を振り返る」	12人
○ 7月25日(木)諏訪ブロック「成年後見活動から考える『意思決定支援』」	12人
○ 7月30日(火)南信州ブロック「各種病棟の特徴とMSWの関わり方について」	16人
○ 9月18日(水)上伊那ブロック「スクールソーシャルワーカーの活動の実際」	14人
○ 9月19日(木)南信州ブロック「社会福祉士として67才になって今思うこと」	13人
○ 9月26日(木)諏訪ブロック「高齢者虐待！」	11人
○11月20日(水)上伊那ブロック「多職種ごちゃまぜ学習交流会」	18人
○11月21日(木)南信州ブロック「障がいのある方のグループホームでの暮らし」	8人
○11月28日(木)諏訪ブロック「共同親権・面会交流とは」	10人
○ 1月16日(木)南信州ブロック「児童養護施設の概要と現状について」	10人
○ 1月30日(木)諏訪ブロック「事例に学ぶ！8050問題を考える」	9人
○ 2月 1日(土)上伊那ブロック「障害福祉サービスについて」	31人
② 役員会	
○ 4月25日(木)諏訪ブロック役員会	10人
○ 6月 8日(土)総会時三役会	4人
○ 7月 6日(土)南信地区役員会	17人
○10月12日(土)南信地区役員会	中止
○12月14日(土)諏訪ブロック役員会	6人
③ 地区総会	
○ 2月22日(土)諏訪市総合福祉センター(湯小路いきいき元気館3階交流ひろば)……	136人

3 日本社会福祉士会／関東甲信越ブロック会議等への派遣・出席

○ 4月 6日	生涯研修センター協議会(長戸副会長)
○ 5月11日	関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議(山崎委員長)
○ 5月11・12日	都道府県ぱあとなあ連絡協議会(衛藤理事、渋沢副委員長)
○ 6月15日	日本社会福祉士会通常総会(萱津会長)
○ 6月15日	関東ブロック都県士会連絡協議会(萱津会長、長戸副会長、事務局)
○ 7月15日	日本SW主催セミナー(北原委員長、小松真樹)
○ 9月 7・8日	都道府県社会福祉士会・会長会議(萱津会長)
○ 9月28・29日	全国生涯研修委員会(長戸副会長、青木理事)
○ 9月29日	2019年度スクールソーシャルワーク担当者意見交換会(弓田香織)
○10月19日	関東ブロックぱあとなあ連絡会議(北原委員長)
○11月30日	生涯研修センター協議会(長戸副会長)
○12月14日	甲信越社会福祉士会連携会議(萱津会長、上條・長戸副会長、青木理事、矢澤委員)
○ 2月15日	関東ブロック都県士会連絡協議会(萱津会長、上條・長戸副会長、事務局)

4 各種調査の実施

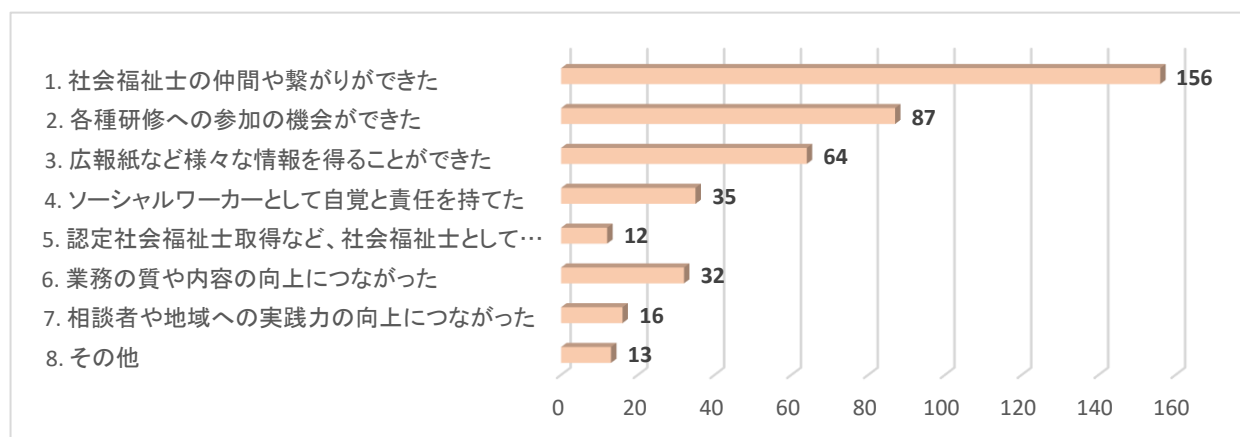
(1) 「平成24年 県社会福祉士会のあり方提言」に対する検証アンケート

- ◇ 調査目的： H24年あり方提言に対する達成度等の評価・検証を行い、中期計画の策定に反映させる
- ◇ 調査対象： 理事・各種委員・プロジェクト委員 約200人
- ◇ 期間方法： 2019年11月1日～30日、メールによる送信・回収
- ◇ 回 答 者： 51人(回収率:25.5%)

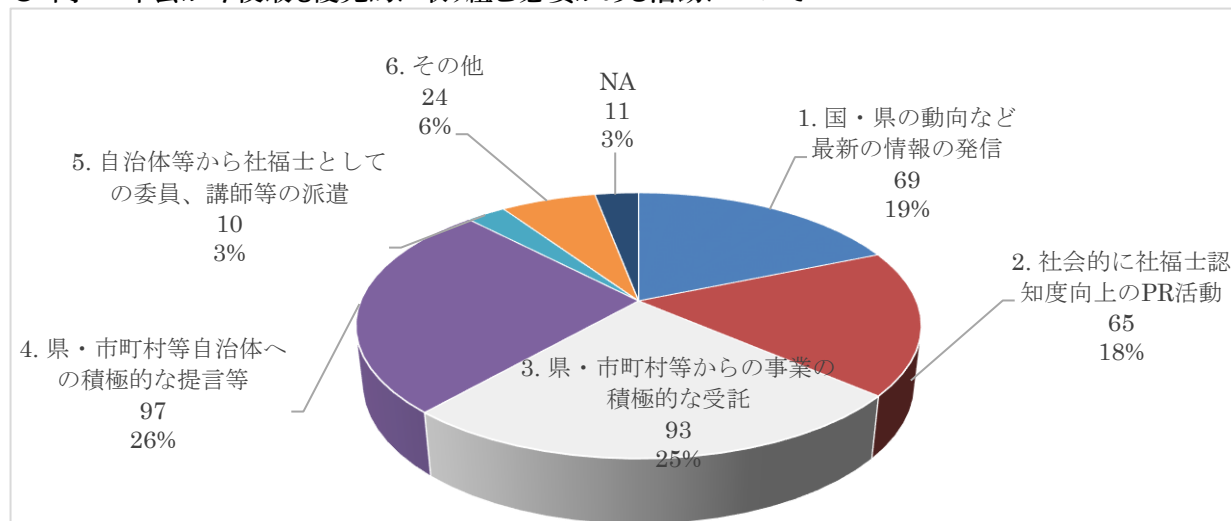
(2) 中期計画策定に向けて/会員意向等アンケート調査

- ◇ 調査目的： 本会・会員の置かれている現状の認識や今後の会のあり方について意向の調査。会の魅力、感じ方や帰属意識、アイデンティティ等を把握し、中期計画の策定の基礎資料とする。
- ◇ 調査対象： 本会全会員(1,169人)
- ◇ 期間方法： 2019年11月1日～30日、郵送による依頼、回収はメール、FAX、郵送
- ◇ 回 答 者： 369人(回収率:31.6%)

● 問3 社会福祉士会に入会して一番良かった(喜びを感じた等)ことについて



● 問27 本会が今後最も優先的に取り組む必要がある活動について



(3) 社会福祉士実習の受け入れの現状に係る調査

- ◇ 調査目的： 県内実習の受入の現状と課題の把握・研究を行い、実習の受入法人を増やすために活用
- ◇ 調査対象： 県内の社会福祉施設・機関及び社会福祉士実習指導者
- ◇ 期間方法： 2020年1月1日～31日、郵送による依頼、回収はFAX、実習指導者はインターネット回答
- ◇ 回 答 者： 社会福祉施設・機関 288箇所
社会福祉士実習指導者 148人